

事業番号	09 03 02	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b>		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	H16 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標							
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			4-5 地球環境への貢献			

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・GAPの取組を基礎に、食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く行われる。 ・地球温暖化防止に貢献する技術の導入や農業生産活動が広がる。  <b>【これまでの取組】</b> ・国際水準GAPの実践に向けGAP指導員を育成し、GAP認証取得を支援。 ・農業適正使用研修会を開催するとともに、農薬安全使用のリーダーとなる農薬管理指導士を認定。 ・有機農業プラットフォームを設立し、生産者・実需者・消費者・行政の情報交換を行うとともに、勉強会や研修会を開催。				
	令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・GAP・環境農業の取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりには至っていない。            ・有機農業が拡大する機運が高まっているが、自主的な活動をより促進する必要がある。            ・2050年にゼロカーボン達成するため、農業分野での温室効果ガスの削減等の取組が必要である。            ・新たな病害虫や防除が困難な病害虫が発生しており、的確な防除のために発生予察と防除対策が必要である。         </td> <td>           ・GAP指導員による指導活動を強化するとともに、認証取得に向けた組織的な取組を支援する            ・有機農業推進プラットフォームの研修会を充実するとともに、会員相互の自主的な活動促進を図る。            ・地球温暖化対策・削減技術を開発するとともに、環境にやさしい農業の面的拡大と炭素貯留技術の実証。            ・侵入警戒調査や発生予察により、生産者への的確な情報発信と防除対策の実施         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・GAP・環境農業の取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりには至っていない。 ・有機農業が拡大する機運が高まっているが、自主的な活動をより促進する必要がある。 ・2050年にゼロカーボン達成するため、農業分野での温室効果ガスの削減等の取組が必要である。 ・新たな病害虫や防除が困難な病害虫が発生しており、的確な防除のために発生予察と防除対策が必要である。
課 題	今後の方向性				
・GAP・環境農業の取組は拡大しているが、面的・組織的な広がりには至っていない。 ・有機農業が拡大する機運が高まっているが、自主的な活動をより促進する必要がある。 ・2050年にゼロカーボン達成するため、農業分野での温室効果ガスの削減等の取組が必要である。 ・新たな病害虫や防除が困難な病害虫が発生しており、的確な防除のために発生予察と防除対策が必要である。	・GAP指導員による指導活動を強化するとともに、認証取得に向けた組織的な取組を支援する ・有機農業推進プラットフォームの研修会を充実するとともに、会員相互の自主的な活動促進を図る。 ・地球温暖化対策・削減技術を開発するとともに、環境にやさしい農業の面的拡大と炭素貯留技術の実証。 ・侵入警戒調査や発生予察により、生産者への的確な情報発信と防除対策の実施				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<p><b>○国際水準GAP認証取得支援</b></p> <p>・GAPの実践を支援するGAP指導員を育成するとともに、農業者のGLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP認証の取得を推進し、コンサルタントの導入や認証審査を支援。</p> <p><b>○有機農業推進プラットフォームの活動支援</b></p> <p>・有機農業に関心がある生産者、実需者、消費者、行政などで構成する有機農業推進プラットフォームを運営し、会員相互による主体的な活動支援を充実し、研修会等を開催する。</p> <p><b>○自然循環型農業定着促進事業</b></p> <p>・農業生産活動に由来する温室効果ガスを削減するため、水田からの温室効果ガスの発生抑制技術の開発や、炭素貯留を検討する。また、有機農業をはじめとする自然循環機能を活かした「環境にやさしい農業」の取組を促進する。</p> <p><b>○重要病害虫まん延防止対策事業</b></p> <p>・これまで確認されていない病害虫について、予察調査により侵入警戒を行うとともに、テンサイシストセンチュウ及び薬剤抵抗性リンゴ黒星病のまん延防止と的確な防除を徹底する。</p>
------------------	--

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値		R1年度	R2年度	R3年度		
1	国際水準GAPの取得件数	28	45	↑	48	↑	50				
2	化学肥料・化学合成農薬を5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積 (ha)	602	571	↓	640	↑	650				
3											
4											
5											
							事業コスト	前年度繰越			
								当初予算	122,167	109,142	要求 128,204 予算案 127,146
								補正予算	-38,557	0	
								合計(A)	83,610	109,142	要求 128,204 予算案 127,146
								うち一般財源	20,753	23,433	要求 20,595 予算案 20,242
								決算額(B)	75,962		
								職員数(人)	18.5	18.5	18.5
成果指標設定理由	①国際水準GAP取得者数から、GAP普及状況が評価できるため。 ※目標値:前年度の増加率と新型コロナウイルス感染症の影響を勘案して設定 ②化学農薬・化学合成農薬を半分に削減して環境保全に資する技術を実践する「環境保全型農業直接支払事業」取組面積から、「環境農業」の普及状況が評価できるため ※目標値:過去5年間の面積伸び率から設定										

予算要求からの主な変更点	環境保全型農業直接支払事業について、前年度までの国庫補助金の交付実績を考慮し経費を減額
--------------	---

事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	GAP・環境農業総合対策事業		19,809 千円	14,225 千円	要求 予算案	11,069 11,069 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)			
1	GAPの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GAPアカデミー、GAPフォーラムの開催</li> <li>・国際認証GAP認証取得支援</li> <li>・GAP指導員の育成</li> </ul>			
2	環境農業の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州の環境にやさしい農産物認証制度の運用</li> <li>・環境にやさしい農業実証事業の実施</li> </ul>			
3	有機農業プラットフォームの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーガニック・アカデミーの開催</li> <li>・プラットフォーム先進活動支援事業</li> <li>・有機JAS制度の推進</li> </ul>			
4	自然循環型農業定着促進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田からの温室効果ガス発生抑制技術の開発</li> <li>・もみがら暗きよによる炭素貯留の実証</li> </ul>			

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
2	環境保全型農業直接支払事業		36,200 千円	36,464 千円	要求 予算案	36,464 35,406 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)			
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組に対する交付金</li> </ul>			

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
3	植物防疫事業		64,093 千円	56,483 千円	要求 予算案	78,900 78,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)			
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫発生予察ほ場の設置及び調査</li> <li>・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入</li> </ul>			
2	病害虫防除所運営費	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病害虫防除所の設置及び業務の運営</li> </ul>			
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミバエ等の侵入警戒調査</li> <li>・テンサイシストセンチュウ防除の実施</li> <li>・薬剤耐性リンゴ黒星病の発生状況調査及び防除対策</li> </ul>			

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
4	農薬安全使用対策事業		2,065 千円	1,970 千円	要求 予算案	1,771 1,771 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)			
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬の適正使用の推進</li> <li>・マイナー品目の農薬登録拡大</li> <li>・環境モニタリング調査の実施</li> </ul>			